

アル・アクサ洪水第734日目：ハマス、停戦協議継続の条件を提示

Palestine Chronicle、2015年10月8日、脇浜義明訳



イスラエルはガザでの虐殺を続けた。(Photo: via WAFA)

主要事項

*ハマスは、現在進行中のシャルム・エル・シェイフ会議から生まれる合意は、包括的で恒久的停戦とイスラエル軍のガザ回廊からの完全撤退を保証するものでなければならないと繰り返し主張した。

*上のハマス声明は、米国とイスラエル高官が会議に出席すると予想された中で発表された。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のイスラエル攻撃の犠牲者は、死者67,183人、負傷者169,841人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月8日 11:49 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ政府メディア・オフィスが昨日発表したところによると、イスラエル占領軍は平均して1日に2人の医療従事者を殺害し、2日間に13人の手足の切断しなければならない重傷者をもたらししている。

10月8日 11:46 pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ・イスラム聖戦運動の軍事部門のアル・クッズ旅団は、アッシャティ地区とテル・アル・ハワ地区付近でイスラエル軍を攻撃した。イスラム聖戦の指導者ジャド・アンナハーラーは、パレスチナ人は決して降伏しないと宣言し、シャルム・エル・シェイフ交渉の成否は捕虜交換とイスラエル軍の全面的ガザ撤退にかかっていると言った。

10月8日 11:44 pm

*パレスチナ・クロニクル：元イスラエル国連大使ロス・プロソールのインボックスからハッキングされたEメールから、2014年のイスラエルのガザ攻撃のとき、アトランティック誌のディビッド・フラムや英国のジャーナリスト、ダグラス・マレーなど多数の著名ジャーナリストが、スピーチ原稿の作成など「直接的支援」をプロソールに申し出ていたことが明らかになった。

10月8日 11:27 pm

*アル・ジャジーラ：パレスチナの幹部はアル・ジャジーラに対して、パレスチナ代表団と仲介者との会合が終わり、現在仲介者は係争事項に関する最終的回答を得るためにイスラエル側と会談していると語った。報道によると、捕虜交換リストと、人質返還後に戦争へ戻らないという保証については進展があったという。ハマスは人質全部の引き渡しに同意したが、遺体の引き渡しは戦況が落ち着くまで延期するとした。仲介者は両代表団に金曜日（10月10日）を交渉期限とするように求め、人質解放前にイスラエル軍撤退マップを提出せよというパレスチナ側の要求を認めた。また、合意が成立した場合、トランプ大統領が正式に終戦を宣言すると、パレスチナ代表団に伝えた

*アル・ジャジーラ：トランプ米大統領は、ハマスとの交渉は「順調に進んでいる」と述べ、12日に中東訪問するかもしれないと付言した。彼は、「すべてのアラブ諸国とイスラム諸国がこの交渉に関与している。これは前例のないことだ」と言った。

*イスラエル軍：イスラエル・メディアは、イスラエル空軍がイスラエル・エジプト国境付近でイエメンから発射されたドローンを迎撃したという発表を報じた。

*CNN：マルコ・ルビオ国務長官は、ガザ停戦合意が成立すれば、トランプ大統領が中東訪問するかもしれないと言った。

10月8日 10:01 pm

*アル・ジャジーラ：スペイン与党幹部のアナ・モロはアル・ジャジーラに対し、イスラエルが国際法違反行為を続けるのは、国際的責任追及がないたでであると言った。「イスラエル政府はパレスチナ国樹立を望んでいない」と述べ、国連に対しイスラエルとその支持国に国際法遵守を迫る具体的行動を取ることを求めた。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍機がガザ市東部に一連の激しい空爆を行ったと報じた。これは、現在の軍事攻勢を新たに拡大したことを示す攻撃である。

*アクシオス：マルコ・ルビオ国務長官は予定していたガザ戦後処理に関する外相会議への出席を取りやめた。イスラエル政府筋がアクシオスに語ったところによると、パリ外相会議は「トランプ大統領の計画から注意を逸らし、進行中の交渉を損なう恐れがある」として、トランプ政府に参加を控えるように要請した。

10月8日 8:17 pm

*パレスチナ・クロニクル：グローバル・スムード船団に参加してイスラエルで拘束された南アフリカの活動家マンドラ・マンデラは、イスラエルを「崩壊しつつある国家」と呼び、「盗んだ土地には正義はない」と言った。ケープタウンから発信した[スラー・テープの小論](#)を読みたい。

10月8日 8:15 pm

*ガザ市民防衛団：イスラエルは、シャルム・エル・シェイフ交渉中は大規模な虐殺を控えてはいるものの、ガザ市破壊は激化している。「停戦交渉中も、ガザは決して平穏ではない。住民の帰還を阻止することを目的とした、異なる形のジェノサイドが行われている」と、市民防衛団が声明を出した。

*アクシオス：イスラエル高官の発言によれば、ガザ停戦に関する交渉は「目に見える形で進展」しており、「慎重であるけれど楽観的雰囲気」だという。月曜日（6日）からエジプトのリゾート都市シャルム・エル・シェイフで、イスラエルとハマスの間の間接的交渉が、トランプ大統領のイスラエルのガザ・ジェノサイド戦争を終結させる計画の実現を目指して行われている。

*アナドル通信社：トルコ議会は、イスラエルのガザ支援に向かう人道支援船団への攻撃を強く非難する決議案を全会一致で可決した。

10月8日 7:33 pm

*パレスチナ・クロニクル：重要なのは歴史、とりわけイスラエルの欺瞞の歴史だ。シオニスト植民地主義は、その始まりから、一連の歴史捏造でパレスチナ支配を正当化してきた。[ラムジー・バルードの小論](#)を読みたい。

10月8日 7:17 pm

*イスラエル・メディア：カッツ国防相がガザ市のアッサブラ地区を占領したイスラエル軍を視察した。彼は軍に「あらゆるシナリオに備え」自分たちの安全確保のために必要なあらゆる方策を講じるように指示したと言われる。

*アル・ジャジーラ：トルコのハカン・フィダン外相は、トランプ大統領のガザ計画には細々したことが多く含まれているけれど、「我々が最優先するのは停戦と人質解放」だと述べた。また、外相はネタニヤフ首相はいつも交渉による合意を妨害してきたが、今回はそれをする余裕がない」と付言した。

10月8日 5:34 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ封鎖突破国際委員会 (ICPS)は、今朝、ガザへ向かっている自由の船団がイスラエル軍の攻撃を受けたと発表した。10隻から成るこの船団は、世界から集まった国会議員、医師、ジャーナリストを含む数十人の活動家を乗せて、9月25日にシチリア島を出発した。前の件があつて多くの人が反対したけれど、主催者たちは使命の継続を主張して、封鎖されたガザを目指した。

10月8日 5:09 pm

*パレスチナ・クロニクル：エジプトでガザ停戦交渉が続く中、ハマスは、イスラエル刑務所から釈放されるパレスチナ囚人のリストを、解放する人質リストと、イスラエルと交換したと発表した。

*アル・ジャジーラ：国連プロジェクト・サービス局長はアル・ジャジーラに対し、停戦合意が成立すれば、ガザ回廊の復興作業を直ちに開始しなければならないと言った。彼によると、インフラの80%が完全破壊されているので、復興には520億ドル必要である。まず、瓦礫の撤去から始めなければならないと言った。

10月8日 4:45 pm

*パレスチナ・クロニクル：スティーヴン・ウィトコフとジャレッド・クシュナーがシャルム・エル・シェイフに到着した。

10月8日 4:43 pm

*アル・ジャジーラ：ユニセフのジェームズ・エルダー報道官はアル・ジャジーラに対し、「ガザでは乳児1,000人を含む約2万人の子どもが殺害されているのに、世界が沈黙しているのは衝撃だ」と言った。彼は、ガザでは医療器具の不足の中出産の三分之一が早産であると述べ、イスラエルが依然として食料や保育器などの搬入を妨害していることを指摘した。さらに、度重なる避難と移住で子どもたちのトラウマが深刻化していると言い、ガザの復興は子どもたち、「十分な教育を受けた新世代」にかかっているのにと警告した。

*ポリティコ：イスラエル政府の顧問は「ディールによる合意はほぼ完了」と述べ、「トランプ大統領はネタニヤフ首相に逸脱や策略の余地を与えない」と言った。

*イスラム聖戦声明：イスラム聖戦運動は、代表団が今夜シャルム・エル・シェイフに到着し、イスラエルの侵略終結、ガザからのイスラエル軍撤退、捕虜交換に関する交渉に参加すると発表した。

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル刑務所でパレスチナ人囚人アハメド・フデイラト(22)が、健康悪化にもかかわらず治療されずに、死亡した。

10月8日 2:55 pm

*ロイター通信：マルコ・ルビオ国務長官は、明日パリで開催されるガザ計画に関して協議する外相会議に出席する。

*ハマス：ハマス幹部は、ハマスの要請で、イスラム聖戦とパレスチナ解放人民解放戦線(PFLP)がシャルム・エル・シェイフの代表団に加わったと発表した。

*イスラム聖戦：イスラム聖戦幹部はアル・ジャジーラに対し、イスラム聖戦とPFLPの代表団がシャルム・エル・シェイフの交渉に参加したと語った。イスラム聖戦の書記長は、抵抗勢力は捕虜交換協定を交渉する準備ができており、「近日中」に合意が成立すると述べた。合意が成立すれば「イスラエルの侵略継続の口実がなくなり、緊張が緩和されるかもしれない」と付言した。

*アル・ジャジーラ：医療筋によると、ラファの北にある援助物資配給センターで配給を待っている人々へのイスラエル軍の銃撃で、1人が死亡し、数人が負傷した。

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の報告によれば、ヌセイラト難民キャンプの北へのイスラエル軍の砲撃で数人が負傷した。

*ガザ保健省：この24時間イスラエルのガザ回廊全域への空爆が続き、10人の遺体と61人の負傷者が病院へ運び込まれた。2023年10月7日以降のイスラエル軍の攻撃の犠牲者は、死者67, 183人、負傷者169, 841人となった。

*WHO：WHOのガザ地区事務局長は、100万人以上が深刻な食糧不安に陥っており、50万人以上が飢餓に近い状態にあると言った。彼女は、ガザの保健医療部門の再建には70億ドル以上の費用がかかると見積もった。

10月8日 12:12pm

*パレスチナ・クロニクル：イタリアのメローニ首相と何人かの閣僚がICC（国際刑事裁判所）に告発される可能性がある。弁護士らは、イタリア政府のイスラエルとの継続的軍事協力と、グローバル・スムード船団を保護しなかったことを非難している。

10月8日 11:32am

*チャンネル4：野党指導者ヤイル・ラピッドは、チャンネル4に対して、シャルム・エル・シェイフで停戦と捕虜交換協議が続く中、ガザ合意成立の可能性を「楽観視してよい理由が多くなった」と語った。

*ワシントン・ポスト：息子が米海軍の兵士であるパレスチナ人女性が、トランプ政権、イスラエル政府、ヨルダン政府の共同作業で、数週間かかって秘密裡にガザから脱出した。この脱出にはイスラエルの空爆の一時停止が必要だった。ガザからの合法的な脱出を組織することが極めて困難であることを示している。

*アル・アクサTV：今日早朝、イスラエル軍はガザ回廊中部の町アル・マグラカを砲撃した。

*イタリア・メディア：イタリアのジョルジャ・メローニ首相は、自分と外務相と国防相がガザ・ジェノサイドへの共謀の罪で訴追されていると述べた。これは、パレスチナ人弁護士と法律家がパレスチナに関して国際刑事裁判所に提訴したことを受けて、イタリアの約50人の学者、弁護士、著名人が、イタリア政府が殺傷兵器をイスラエルに提供して「イスラエルの大量殺戮を支援した」と訴えた訴訟である。

*アル・アクサTV：今日早朝、イスラエル軍はヌセイラト難民キャンプの北部を砲撃した。

*パレスチナ・メディア：地元情報によると、イスラエル軍戦闘機が今朝ハーン・ユーニスの中心部を空爆し、また装甲車が同市北部の砲撃した。

10月8日 1:36am

*ニュースのまとめ

・トランプの「決定的」日々；トランプ米大統領はイスラエルの元人質に対し、ガザ戦争を終わらせるディール（シャルム・エル・シェイフ協議のこと）では今後2日間が決定的な日となるであろうと言った。捕虜のオメル・ネウトラの家族は、トランプ大統領との会見後、トランプが「数日以内」にディールで合意できる自信を表明したけれど、「どうなるか成り行きを見守ろう」と自分たちに助言したと言った。

・砲撃と空爆の継続；イスラエル軍機がハーン・ユーニス中部を空爆した。イスラエル軍の大砲と爆撃機がアッダラジ地区とアッシュジャイヤ地区などガザ市東部の攻撃した。また、ガザ市南部のアッサブラ地区では爆発物を仕掛けた車両を爆発させて住宅を破壊した。ハーン・ユーニス北部でイスラエル軍車両が砲撃した。

・ガザ政府メディア・オフィス声明；米大統領の攻撃停止要請にもかかわらず、イスラエルは4日連続でジェノサイドを継続し、人口密集地を230回空爆し、118人を殺害した。

・エルサレムの銃撃；イスラエル警察は、占領地エルサレムのアル・アクサ・モスク近くのバイドウン地区で、パレスチナ人青年を射殺した。（配信された映像には、撃たれた青年は地面に横たわっていた）

・シャファト難民キャンプ襲撃；イスラエル軍は占領地エルサレムの北にあるシャファト難民キャンプを襲った。

・ラマッラー襲撃；イスラエル軍はラマッラー西のニリン村、ラマッラー東にあるシルワド村、ディル・ディブワン村を襲った。

・トルコのデモ；イスラエルの「絶滅戦争」2周年目にあたり、トルコのディヤルバキルとコンヤで、数千人のトルコ人がパレスチナとガザを支持するデモを行った。

10月8日 12:22am

*チャンネル13：イスラエル軍は、イタリアを出航し、今夜ガザに着くと予想される新たな自由の船団を止める準備をしている。

*アクシオス：情報筋によると、トランプ大統領は、元人質のイダン・アレクサンダーと会見したとき、ガザ戦争終結に関するディールは、「今後2日間が決定的になる」と述べた。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍がガザ市東部のアッシェジャイヤ地区とアッダラジ地区を夜間砲撃を行ったと報じた。

10月7日 11:45pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・アクサ洪水作戦から2年を迎え、ハマスの幹部のファウジ・バルフムは、イスラエルの占領を無くし、ガザ復興を確実にすることができない合意はしないと述べた。

10月7日 11:06pm

*アル・ジャジーラ：ネタニヤフ首相は「我々は決定的な日々におり、戦争の目的をすべて達成するように奮闘を続ける」と言った。さらに、「イスラエルは、すべての人質を取り返し、ハマスの支配を打破し、ガザが二度とイスラエルの脅威とならないように、努力を継続する」と言った。彼は、イスラエルは中東のイラン軸を潰して、中東の形相を変えた」と主張し、イスラエル国の存続を確実にすると誓った。彼は、現在行っている7つの戦線での戦いを「祖国、イスラエル国の存続、未来のための決戦」と表現し、「我々に手を上げる者は誰であれ前例のない壊滅的打撃を受けるだろう」と言った。

*イスラエル・メディア：数千人の入植者が、2023年10月7日2周年に合わせて、テルアビブ中心部の「人質広場」に集まった。

*アル・カヘラ通信¹：ハマスの交渉団長ハシル・アル・ハヤはアル・カヘラ通信に対して、ハマスがシャルム・エル・シェイフにきたのは「ガザの住民を殺害する戦争を止めるための真剣で責任ある交渉をするためだ」と語った。彼は、交渉団は「パレスチナ人民の安定と国家樹立と自治への希望と願望を担っている」と述べ、「アラブ諸国、イスラム諸国、そしてトランプ米大統領が戦争の恒久的終結に向けて行った努力」の感謝の意を表した。アル・ハヤは、ハマスは責任をもって戦争をやめる用意があるとはっきり言ったが、イスラエルがなおも「殺戮とジェノサイド」を続けていると非難し、「イスラエルは信用できない、これまで一度も約束を守ったことがない」と言った。彼は、ハマスの当面の目標は、戦争終結、捕虜交換、人質釈放であると繰り返して言った。

*WHO：世界保健機構（WHO）のテドロス・アダノム・ゲブレイェス事務局長は、「我々はこれまで以上に中東和平に近づいている」と述べた。彼は、イスラエルとパレスチナ双方が捕虜や拘束者の即時・無条件解放を求めた。

訳注1：エジプトの情報機関に近い通信社。